

Technical Description

Floristry

職種定義

フラワー装飾



ワールドスキルズインターナショナルは、その競技運営委員会の決議により、またその憲章、運営規則および競技規則に基づいて、技能五輪国際大会の本職種における下記の最低要件を承認している。

本職種定義は以下の内容で構成されている。

- 1 序文
- 2 ワールドスキルズ職業基準 (WSOS)
- 3 評価戦略と仕様
- 4 採点スキーム
- 5 競技課題
- 6 職種管理と情報伝達
- 7 職種限定の安全要件
- 8 材料と機材
- 9 職種限定規則
- 10 来場者とマスコミに対する職種の広報活動
- 11 持続可能性
- 12 産業界との協議に関する情報
- 13 付録

1 序文

1.1 職種競技の名称と説明

1.1.1 職種競技の名称

フラワー装飾

1.1.2 関連する職務または職業の定義

フラワー装飾家はフラワー装飾業界の様々な部門で働いており、自営、委託業務の請負、小売部門勤務などの業態をとっている。フラワー装飾家は顧客との取引において、フラワービジネスに関する洞察力や対人能力を示さなければならない。さらにより優れた顧客対応力や販売能力も必須だ。テーマ性を持ったオーダーメイドのフラワープロジェクトは、結婚式、お祝い、葬儀、製品の発売など、さまざまな社会的および文化的イベント用に委託されている。フラワー装飾家は、完成品の構想と範囲を解釈しながら、顧客に適切な専門家としてのアドバイスを行うための企画力・管理能力を有していなければならない。

園芸素材はデリケートでダメージを受けやすく、腐敗もしやすい。そのため、フラワー装飾家は、扱う素材の収穫後の手入れや状態管理に関する知識を備え、すべての園芸素材の効果的な調達や購入、保管についての幅広い知識を用いて対応しなければならない。

フラワー装飾のデザインでは、小さな花束でも大きなイベント用の大規模展示でも、フラワー装飾家が革新性や創造性を有し、美学や実用性を取り入れた、芸術やデザイン上の知識を発揮することが要求される。フラワー装飾家は、デザインの原則と要素を構成と色に用いるとともに、専門家として適切な技法を活かしアイデアを示す必要がある。

フラワー装飾家は、花や植物、植物材料やその他の材料およびアクセサリーに関する自身の専門技術や知識を用いてフラワー装飾プロジェクトを制作する。フラワー装飾業界には、さまざま仕事が存在する。フラワー装飾家の中には、小売店で働き、花束やアレンジを販売用に作成する業務に従事し、そのため市場や商業上の制約をはっきりと認識しなければならない者もいる。その対極にある専門分野として、フラワー装飾家は、注目を集める大規模国際イベントのために花の展示を請け負って提供する場合もある。このようなイベントでは、テーマを解釈し、時間の制約が厳しく高いプレッシャーがかかる状況下で、他の専門家と協力しながら多人数のチーム内で効果的に作業を進める必要がある。

他の生産者や小売業者にとっても、持続可能な実践はますます不可欠であり、また彼ら自身の最大の利益にもなる。責任ある調達からデザイン、実現、アフターケアに至るまで、卓越したフラワー装飾家は倫理的で環境に優しい実践をビジネスの最前線に据えている。

1.1.3 チームの選手数

フラワー装飾は、選手1人による職種競技である。

1.1.4 選手の年齢制限

選手は、技能競技大会の開催年において22歳以下でなければならない。

1.2 本書の位置づけと重要性

本文書は、この職種競技で競うために必要となる基準、そして競技を運営する上での評価指針や方法および手順に関する情報を含む。

各エキスパートと各選手は、この職種定義について理解しておく必要がある。

「職種定義」の異なる言語間の解釈の相違に際しては、英語版が優先される。

1.3 関連書類

この職種定義は職種限定の情報のみを含むため、以下のものと共に用いること。

- WSI-倫理行動規程
- WSI-競技規則
- WSI-ワールドスキルズ職業基準の枠組
- WSI-ワールドスキルズ評価戦略
- WSI-本文書に記されているオンラインの情報源
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- ワールドスキルズ基準評価ガイド（職種限定）

2 ワールドスキルズ職業基準（WSOS）

2.1 WSOSに関する一般的な説明

WSOSは、技術的および職業的能力における国際的な最良事例の土台となる知識、理解、技能と能力について詳述している。これらは職業的役割に特化していると同時に横断的である。それらは共に、業界や企業においてその関連する職務または職業が何を意味するかについて、全世界で共有される理解を反映したものでなければならない（www.worldskills.org/WSOS）。

職種競技はWSOSの記述に従い、国際的な最良事例を可能な限り反映することを目的としている。したがって、WSOSは職種競技のために必要とされる訓練や準備についての指針でもある。

職種競技において、知識や理解の評価は実技の評価を通して行われる。知識や理解力のテストはやむを得ない理由が無い限り、別途行うことはない。

WSOSは項目付きのセクションで区切られ、参照番号が付いている。

各セクションで合計点における割合（パーセント）が定められ、WSOSに占める相対的重要度が示されている。これはしばしば「重要度」と呼ばれる。パーセント評価をすべて合計すると100になる。重要度は、採点スキーム内の評点の配分を決めるものである。

競技課題を通して、採点スキームはWSOSに記載されている技能と能力のみを評価する。それらは職種競技の制約内で可能な限り包括的にWSOSを反映する。

採点スキームは実際に可能な範囲で、WSOS内の評点の割り当てに従う。WSOSで規定されている重要度を歪めないのであれば、最大5%までの変動は許容される。

2.2 ワールドスキルズ職業基準

セクション		相対的重要度 (%)
1	作業の構成と管理	13
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 花に関わる産業の範囲や特徴と、他の職業との関わり方 フラワー装飾のデザインの原則や要素 安全衛生に関する法律、規則、文書と実務 作業の構成と優先順位の重要性 時間管理の重要性 無駄と経費を管理しながら利益を最大化できる仕事の仕方の手法 材料のリサイクルおよび/または再利用を含む、花に関わる産業の持続可能な慣行 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> 創造的、芸術的、革新的であり、臨機応変である。 イニシアチブを発揮する。 変化する状況に、敏感かつ柔軟である。 実践的、技術的および理論的な専門知識を適用する。 最近の傾向、新しい考え方やスタイル、材料に敏感であるよう専門家として継続的に進歩を重ねる。 新しい方法を試し、変化を受け入れる意欲を示す。 利用可能な資源を最大限に活用するために、作業を効果的に計画および構成する。 様々な規模のプロジェクトや複雑なプロジェクトを計画する。 安全衛生と環境に関する規則や慣行の範囲内で仕事をする。 時間的制約のもとで作業を進め、最終期限と目標を達成する。 自主性と高い自律性を発揮し、効果的に作業する。 	
2	材料と道具の手入れ	10
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 花と植物材料の特徴 あらゆる園芸材料の正しい用語体系 正しい温度を含む材料の保管要件 課題に関する材料の最適な適用と正しい取り扱い手順 切り花や植物の手入れと取り扱い 季節による植物や植物材料の入手可能性 輸送コストと責任ある栽培者に関連した植物材料の倫理的な調達 収穫後の材料管理 花の装飾に使用する道具と器具 使用する道具に関する適切な技術 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> 供給コストと栽培者の慣行に関連して植物材料の原産地を決める。 すべての植物材料を適切な収穫後管理法を用いて扱う。 デザイン用に植物材料を適切な状態にして準備する。 植物材料の状態を保つ。 植物材料を適正な温度に保つ。 デザインに使用される容器、雑貨品その他の材料を含む、作品に関連するすべての材料を適切に管理する。 作品に関連する道具や器具を選択して使用する。 	
3	ビジネスとコミュニケーション	8

	各自は、以下を知り理解する必要がある： <ul style="list-style-type: none"> 指示の解釈を通して顧客の信頼を確立し維持することの重要性 	
セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> 同僚や他の専門家との生産的な業務関係を構築し維持することの重要性 依頼の解釈を通して顧客に共感を示すことの重要性 	
	各自は以下を実施できること： <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて植物材料、家具、スタンド、花瓶、容器やアクセサリを活用し、フラワーショップのデザインをする。 文化的嗜好と倫理的な側面に配慮した材料を選択して使用する。 フラワー装飾の作品との関連で適切な材料を選択して使用する。 作品との関連で環境要件を解釈して適用する。 依頼者の個性や特徴をフラワー装飾の作品に反映させる。 実践的なデモンストレーションを行う。 タイムスケジュールを確実に順守する。 フラワー装飾の作品は、安全で確実に輸送できるように整える。 	
4	フラワー装飾のコンセプト	30
	各自は、以下を知り理解する必要がある： <ul style="list-style-type: none"> 構成、色、デザイン、技法などのフラワー装飾の原則と要素 テーマの背後にある理論的根拠 フラワー装飾における最近の傾向と流行 フラワー装飾とその実現における倫理的かつ持続可能な実践の重要性 フラワー装飾の重要性と、それらが物理的環境とどのように関連しているか 結婚式や他のイベントなど、フラワー装飾に関する文化の違い 	
	各自は以下を実施できること： <ul style="list-style-type: none"> 依頼事項を解釈する。 花を用いた作品にフラワー装飾の要素と原則を適用する。 装飾の中で確実に植物材料を際立たせること。 計画されたフラワー装飾に必要な植物材料、容器、技術的な補助器具/材料、装飾アクセサリを選択する。 特定のテーマに合ったフラワー装飾を創作する。 特定の場面に適したフラワー装飾を創作する。 持続可能な実践の必要性を考慮したフラワー装飾を創作する。 配置される場所と環境にふさわしいフラワー装飾を創作する。 伝統的および/または革新的なフラワー装飾を創作する。 フラワー装飾を通じて感情を伝える。 優位性、コントラストや色の組み合わせを用い、デザインの調和を生み出す。 色の作成や色の配置、色合い、色調、陰影など、色彩理論を効果的に用いる。 	
5	フラワー装飾に必要な作業	5
	各自は、以下を知り理解する必要がある： <ul style="list-style-type: none"> フラワー装飾における植物材料の扱いと使用方法 フラワー装飾における植物材料の準備方法 作業エリアを清潔に整理整頓することの重要性 順序立って効率的に作業する方法 	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 清潔性に留意し秩序立って働く。 • 状況に従い効率的に作業の優先順位をつける。 • テーマと作品との関連でフラワー装飾を創作し仕上げる。 • さまざまな環境での販売用にフラワー装飾を創作し、植物材料を展示する。 	
セクション		相対的重要度 (%)
	<ul style="list-style-type: none"> • 個人のフラワー装飾作品を創作する。 • テーマに従い、これを解釈したフラワー装飾を創作する。 • 対象物の中や上に花飾りを作成する適切な技法を選択して実装する。 	
6	花による室内の装飾	7
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 室内の装飾の意味（ハンギング、スタンディング、室内仕切板、スクリーン、壁のデザインなど） • 望まれる効果との関連でフラワー装飾はどのような影響を与えることができるか。 • 熱や換気、照明がどのようにフラワー装飾に影響を与えるか。 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 適切な技法および/または技法の組み合わせを用いて室内の装飾を創作する。 • お祭りや会社の行事などのイベントにふさわしい大規模で複雑なデザインを創作する。 • ハンギング、スクリーン、壁のデザインなど、室内への設置に必要な技法を適用する。 • テーマに従い、これを解釈したフラワー装飾を創作する。 	
7	植物を用いたフラワー装飾	7
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> • インテリア、エクステリアのデザインに使用可能な植物の種類 • 植物： <ul style="list-style-type: none"> ○ 正しい用語体系 ○ 保管要件 ○ 正しい取り扱い ○ デザインとの関連で適切な適用 ○ 長く持たせるための維持 ○ 手入れ ○ 季節による入手可能性 ○ さまざまな環境への反応 • 植物をフラワー装飾にどう活用できるか • 鉢植えの植物に使用されるさまざまな培地の使用法 • 植物の保持やディスプレイに使用される容器の種類 • 植物を扱う際の安全衛生への配慮 	

	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな場面やイベント、テーマに適した植物を使用してデザインを創作する。 使用前、使用中に、植物をできるだけ長持ちさせるケアを施す。 植物装飾作業時に、適切に安全衛生に配慮する。 植物の展示や維持管理に適切な容器を使用する。 目下の課題との関連で適切な培地を容器内の植物に使用する。 	
8	ブライダルのフラワー装飾	10
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 結婚式の種類、多様性 結婚式の祝賀に対する文化的および宗教的な影響 結婚式場の候補となる場所 結婚式と関連したテーマ フラワー装飾に対する指示の影響 	
セクション		相対的 重要度 (%)
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの結婚式のスタイル、規模や特徴に合ったフラワー装飾を創作し準備する。 結婚式に適した大規模で複雑なデザインを含む、あらゆる種類の結婚式用フラワー装飾を創作し準備する。 花嫁の個性、ドレス、外観を引き立てるフラワー装飾を創作する。 	
9	特別な花の依頼	10
	<p>各自は、以下を知り理解する必要がある：</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な依頼の種類と範囲 原価計算と価格設定の原則と適用 	
	<p>各自は以下を実施できること：</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示事項を解釈して、テーマ、デザインや要件を確定する。 指示に沿ったフラワー装飾の作成 フラワー装飾依頼の展示を創作し監督する 依頼内容に比べて高い基準を満たす仕上りとなるよう作業工程の品質を保証する。 目下の課題との関連で要望事項を管理する。 注目を集める特別なプロジェクトに伴うプレッシャーの下で効果的かつ効率的に業務を遂行する。 原価計算と価格設定の限界内でプロジェクトを完了する。 必要な記録を完成させて提供、維持する。 	
	合計	100

3 評価戦略と仕様

3.1 一般的なガイダンス

評価はワールドスキルの評価戦略を用いて管理される。この戦略では、ワールドスキルの評価と採点において遵守すべき原則や技法を規定している。

エキスパートによる評価の実施は技能五輪国際大会の中核を成している。この理由により、継続的な専門性開発や精査の対象となっている。評価においてより多くの専門性が求められると、採点スキームや競技課題、また競技情報システム（CIS）などの技能五輪国際大会で使用される主要な評価手段において、将来的な使用法と方向付けに影響を与えることになる。

技能五輪国際大会の評価方法は、メジャメント（測定）とジャッジメント（判定）の2つに大きく分けられる。両方の評価方法につき、各評価細目を採点するのにどちらの方法を使用するかについて明確なベンチマークを適用することが、質を保証する上で不可欠となる。

採点スキームはWSOSにおける重要度に従う必要がある。競技課題は職種競技の評価手段であり、したがって、WSOSにも従うものである。CISはタイムリーで正確な採点の記録を可能にする。CISの精査、サポート、フィードバックの可能性は継続的に拡大している。

採点スキームは、概ね競技課題の考案過程でその指標となる。その後、採点スキームと競技課題は両者一体となってWSOSと評価戦略との関係性を最適化することを保証するため、反復作業を通して考案、作成および検証される。採点スキームと競技課題は共にその質とWSOSとの適合性を明らかにするため、エキスパートの同意を得、承認を求めてWSIIに提出される。

WSIの承認を得るための提出以前に、採点スキームと競技課題はその質を保証しCISの実効性を確保するため、WSIの職種アドバイザーとの情報交換の対象となる。

4 採点スキーム

4.1 一般的なガイダンス

ここでは、採点スキームの役割と位置づけ、競技課題を通して実施された選手の作業に対するエキスパートの評価方法、また、採点の手順と必要事項について記述する。

採点スキームは、それが各職種競技を表す基準と評価をつなぐものであるという点において、つまりそれ自体が世界的な職業を表すという点において、技能五輪国際大会における極めて重要なツールである。また採点スキームは、作業に対する各評価細目の評点がWSOS中の重要度に応じて配点されるように考案される。

WSOSにおける重要度を反映することにより、採点スキームは競技課題考案の制限範囲を定めることになる。職種競技の性質やその評価のために必要なニーズによっては、競技課題考案の手引きとして最初に採点スキームをより詳細に作成することが適切な場合がある。あるいは、最初の競技課題は採点スキームの概要に基づいて考案することができる。この時点より後においては、採点スキームと競技課題は同時に作成することが望ましい。

セクション2.1では、実行可能な代替案がない場合、採点スキームと競技課題がどの程度までWSOS内の重要度からかい離してよいかを説明している。

整合性と公平性のため、採点スキームと競技課題は関連する専門知識を持つ1人以上の独立した競技課題考案者によって考案および作成されるようになってきている。こうした例として、採点スキームと競技課題は職種競技または職種競技モジュールの開始直前まで、エキスパートには見られないようにしている。詳細かつ最終的な採点スキームと競技課題がエキスパートによって考案される場合、独立した認証と質の保証のための提出に先立ち、エキスパートのグループ全体でそれらを承認する必要がある。詳細は競技規則を参照のこと。

エキスパートと独立した競技課題考案者は、完了前に十分な余裕を持って、評価、検証および妥当性確認のために採点スキームと競技課題を提出する必要がある。また、質の保証のため、そしてCISの機能を最大限に活用するため、考案と作成のプロセス全体を通じて職種アドバイザー、評価者や検証者と協力して作業することも求められる。

全ての場合において、採点スキームの草案は遅くとも技能競技大会の8週間前までにCISに入力しなければならない。職種アドバイザーはこのプロセスを積極的に支援する。

4.2 評価基準（の項目）

採点スキームの主要な項目は評価基準（の項目）である。これらの項目は競技課題よりも前に、または競技課題と連動して得られる。職種競技の中には、評価基準（の項目）がWSOSのセクション項目と類似しているものもあれば、異なっているものもある。通常5～9個の評価基準（の項目）がある。項目が一致する、しないに関わらず、採点スキームは全体としてWSOSにおける重要度を反映しなくてはならない。

評価基準（の項目）は採点スキームを作成する個人（または複数人）により案出され、案出者は競技課題の評価や採点に最適であると考えられる評価基準（の項目）を自由に決定できる。各評価基準（の項目）はAからIまでのアルファベットで示される。評価基準（の項目）、評点の配分と評価方法は、この職種定義内に記載してはならない。これは、評価基準（の項目）、評点配分、そして評価方法がすべて、この職種定義の公開後に決定される採点スキームと競技課題の性質に依存するた

めである。

CISにより作成される採点集計様式（Mark Summary Form）は、評価基準（の項目）と副基準のリストを構成するものである。

各評価基準（の項目）に割り当てられた評点は、CISによって計算される。これらは、その評価基準内の各評価細目に付与された評点の累積合計になる。

4.3 副基準

各評価基準（の項目）は1つ以上の副基準に分けられる。各副基準はワールドスキルの採点様式の項目になる。各採点様式（副基準）は、メジャメントまたはジャッジメント、あるいはその両方により評価され採点される評価細目で構成される。

各採点様式（副基準）には、採点日と採点チームの識別情報を記載する。

4.4 評価細目

各評価細目は、評価および採点される単一の項目を評点とともに規定し、また採点のためのガイドとしての詳細な説明または指示を細かく定義する。各評価細目は、メジャメントまたはジャッジメントによって評価される。

この採点様式は、配点とともに各評価細目を細かくリスト化している。各評価細目の配点の合計は、WSOSの該当セクションで指定された評点の範囲内に収めなければならない。これは、以下に示すようなCISの配点表に示され、大会開催8週間前の採点スキームの検討時に実施される。（セクション4.1を参照）

	評価基準（の項目）								セクションごとの 配点合計	WSOSの配点	相違	
	A	B	C	D	E	F	G	H				
WSOSのセクション	1	5.00								5.00	5.00	0.00
	2		2.00					7.50			10.00	0.50
	3								11.00	11.00	10.00	1.00
	4			5.00						5.00	5.00	0.00
	5				10.00	10.00	10.00			30.00	30.00	0.00
	6		8.00	5.00				2.50	9.00	24.50	25.00	0.50
	7			10.00				5.00		15.00	15.00	0.00
合計評点		5.00	10.00	20.00	10.00	10.00	10.00	15.00	20.00	100.00	100.00	2.00

4.5 評価と採点

各副基準には1つの採点チームが存在し、ジャッジメントまたはメジャメント、あるいはその両方で評価と採点を行う。同じ採点チームがすべての選手を評価し、採点しなくてはならない。これが実行不可能な場合（たとえば、すべての選手が同時に行動を取らなければならない、それを監視していなければならない場合）、競技運営委員会管理チームの承認のもとに第2段階の評価と採点が行われる。採点チームは、いかなる状況でも同国/地域人の採点をしないよう組織されなければならない。（セクション4.6を参照）

4.6 ジャッジメントによる評価と採点

ジャッジメント（判定）には0から3の数字を用いる。厳密に一貫性を保った尺度を適用するため、以下を用いて判定する。

- 評価細目ごとの詳細なガイダンスのためのベンチマーク（基準）（文言、画像、人工物、あるいは別のガイダンス）。これは、基準評価ガイドに記述されている。
- 0～3の数字の指標
 - 0：業界水準以下の実技
 - 1：業界水準を満足する実技
 - 2：業界水準を満足しており、特定の分野においては業界水準を上回る実技
 - 3：全体的に業界水準を上回り、優秀と判断される実技

通常は3人のエキスパートが同時に各評価細目を判定し、得点を記録する。4人目のエキスパートは採点を調整および監視し、それらの妥当性を確認する。また、彼らは同国/地域選手の採点を防止するため、必要な場合には判定員としての役割を果たす。

4.7 メジャメントによる評価と採点

通常、3人のエキスパートが各評価細目の評価を行い、4人目のエキスパートが監督する。状況によっては二重採点のためにチームを2組のペアとして構成する場合がある。特に規定のない場合には、最高点または零点が付与される。点数を細分化する場合は、その採点に関するベンチマークを評価細目ごとに明確に定義すること。計算または送信のエラーを回避するためCISには多数の自動計算オプションが用意されており、その使用が義務付けられている。

4.8 メジャメントとジャッジメントの使用

基準の選択および評価方法に関する決定は、職種競技を考案する過程で、採点スキームと競技課題を通して行うこと。

4.9 職種の評価戦略と手順

ワールドスキルズは過去の制約の見直しや優良事例の積み重ねなど、継続的な改善に取り組んでいる。下記に示す本職種競技における職種評価戦略と手順はこのことを踏まえ、採点プロセスがどのように管理されているかを説明したものである。

エキスパートは、職種競技マネージャとチーフ・エキスパートによって評価グループに分けられる。これらは、ワールドスキルズ・インターナショナルが提供する事前決定基準に基づいて選ばれる。選手がいないエキスパートを各採点グループに入れて公平さを保つこともできる。

エキスパートはすべての選手の作品の同じ評価細目を採点する。

4つの各基準内の評点内訳は、ワールドスキルズ職業基準（WSOS）によって決まる。

選手の作品を評価する手順は、職種競技マネージャとチーフ・エキスパートが決定する。

規則の範囲内で、誠実な採点を積極的に確保する。

5 競技課題

5.1 一般的な説明

セクション3（評価戦略と仕様）と4（採点スキーム）は、競技課題の作成について規定している。以下の記述は補足である。

競技課題は、それが単体のものでも、複数の独立または関連したモジュールの集合体でも、WSOSの各セクションで規定された応用知識、技能や振舞いに対する評価を可能とすること。

競技課題の目的は、WSOSを通して十分に、均衡が取れ、かつ真正な評価と採点の機会を採点スキームとの連携において与えることである。競技課題と採点スキームおよびWSOSの関係性が、品質における重要な指標となる。実際の作業能力との関係性についても同様である。

競技課題は、セクション2（ワールドスキルズ職業基準）で示された状況以外では、WSOSの範囲外の領域をカバーしたり、WSOS内の評点のバランスに影響を与えることはない。この職種定義では、WSOSに関係する全範囲の評価をサポートするため、競技課題の性質に影響を与えるいかなる問題についても記載する。セクション2.1を参照のこと。

競技課題は、実際の作業における応用を通してのみ知識や理解の評価を可能とする。競技課題は、ワールドスキルズのルールと規則に関する知識を評価するものではない。

現在、ほとんどの競技課題（および採点スキーム）はエキスパートから独立して考案、そして作成されている。これらは職種競技マネージャまたは独立した競技課題考案者によって、通常は大会開催12か月前から考案、作成される。それらは独立した評価、検証と妥当性確認の対象となる。（セクション4.1を参照）

以下に掲げる情報は、この職種定義の完成時点で判明する内容と秘密保持要件の対象となるものである。

詳細については、最新版の競技規則を参照のこと。

5.2 競技課題の形式/構造

競技課題は、8から12の個別に評価される一連のモジュールである。

5.3 競技課題の考案要件

競技課題は、その基礎となる職業的役割の目的、仕組み、プロセス、成果を反映すべきである。競技課題は、その役割の小規模版を目指すことが望ましい。職種管理チームは実用性に注力する前に、競技課題の考案がセクション5.1に記されているように、WSOS全体において十分で、均衡が取れ、かつ真正な評価と採点の機会をもたらす方法を示すべきである。

独自に考案された競技課題モジュールは、以下のリストから選択される。

必須のデザイン

- ハンドタイドブーケ
- ブライダルデザイン
- 切り花のアレンジメント
- 配植

任意のデザイン

- リース（葬儀用ではない）
- 部屋の装飾：ハンギング、壁面、スタンディングなど
- テーブル装飾

テーマのあるデザイン

- オブジェの装飾
- 花の宝飾品
- 本体装飾

少なくとも3つのモジュールにサプライズボックスの要素が含まれる。

注：モジュールのデザインは、葬儀のアレンジメントに関連したものであってはならない。

5.4 競技課題の調整と作成

競技課題は、必ずワールドスキルズインターナショナルが提供するテンプレートを用いて提出すること（www.worldskills.org/expertcentre）。テキスト文書にはWordテンプレートを、図面にはDWGテンプレートを使用すること。

5.4.1 競技課題の調整（技能競技大会の準備）

競技課題/モジュールの調整は、職種競技マネージャが行う。

5.4.2 競技課題/モジュールの作成者

競技課題/モジュールは、独立した競技課題考案者（ITPD）が職種競技マネージャと協力して作成する。

5.4.3 競技課題の作成時期

競技課題/モジュールは以下のタイムラインに従って作成される。

時期	活動
技能競技大会の10か月前	独立した競技課題考案者を認定し、WSIとITPDの間で秘密保持契約を締結する。
技能競技大会の2か月前	競技課題文書に含まれる一般的な記述と文は、事前に翻訳できるように技能競技大会の前に公開される。
技能競技大会の1か月前まで	競技課題の文書が、ワールドスキルズ・インターナショナルの技能競技大会管理マネージャに送られる。
技能競技大会の第1日目	サプライズモジュールを除く競技課題/モジュールは、エキスパートと選手に提示される。

5.5 競技課題の初期評価と検証

競技課題の目的は、特定の職業における卓越した専門家の職業生活を忠実に表現するよう、選手の課題を作成することである。こうすることにより、競技課題は採点スキームを有用のものとし、WSOSを完全に表現するものとなる。この意味で、競技課題はその背景、目的、活動と期待において類する物が無い。

競技課題の考案と作成をサポートするために、厳密な質の保証と考案プロセスが整っている（競技規則の10.6-10.7を参照）。ワールドスキルズによって承認されると、独立した競技課題考案者（ITPD）は競技課題の妥当性確認に先立って独立した競技課題考案者のアイデアと計画に対する初期的な検討を行い、続いて競技課題を検証するための1人以上の独立した専門家で、かつ信頼できる個人を特定することが求められる。

スキルアドバイザーは、競技規則のセクション 10.7 に根拠を与えるリスク分析に基づき、初期評価と検証の両方の適時性と徹底性を保証するため、この取り決めを確保および調整する。

5.6 競技課題の妥当性確認

職種競技マネージャは、競技課題/モジュールの妥当性確認に関する調整を行い、選手の材料、機材、知識と時間の制約内で完了できることを保証する。

5.7 競技課題の公開

競技課題/モジュールは、技能競技大会以前には公開されない。サプライズモジュールを除く競技課題/モジュールは、技能競技大会第 1 日目エキスパートと選手に提示される。

競技課題の文書に含まれる一般的な既述と文は、事前に翻訳できるように、競技会の 2 か月前にワールドスキルのウェブサイトで開催される。競技課題/モジュールに関する技術情報や詳細情報は共有されない。

5.8 競技課題の変更

競技課題は独立した競技課題考案者 (ITPD) によって作成されているため、技能競技大会で競技課題/モジュールへの変更が求められることはない。ただし、競技課題文書の技術的エラーとインフラの制約から生じる修正は除く。

5.9 材料または製造業者の仕様

選手が競技課題を完了するために必要となる特定の材料および（または）製造者の仕様は、大会開催組織より提供され、エキスパートセンターにあるリンク www.worldskills.org/infrastructure より入手できる。ただし、特定の材料および/または製造者仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会前に公開されない場合があることに注意すること。そのような物の中には、故障発見モジュールや公開されていないモジュールの物品が含まれる場合がある。

切り花、植物、切り葉、装飾アクセサリ、技術的材料（技術補助具）および容器。

- 職種競技マネージャと協議の上、独立した競技課題考案者とワークショップ・マネージャが技能競技大会で使用する材料の100%を選択する。
- びっくり箱を除くすべての材料は、技能競技大会開始前の選手の習熟日中に入手が可能となる。
- 植物材料はすべて正しく科学的に名称が付けられ、技能競技大会の1日前から2日前以内に、最大限新鮮な状態で到着しなければならない。これらは、個々の選手用に仕分けされ配布の準備が整った状態で到着しなければならない。材料はすでに水に浸かった状態で到着しなければならない。最低でも追加のバケツ10個を各選手に配る。

生花と材料の冷蔵

- 生花は、最低3° C、最高10° Cで保管しなければならない。

注：ワークショップ（各職種競技場）または近くにある場合、選手には貯蔵室への合理的なアクセスが許される。

- 選手は、技能競技大会初日の準備時間内に、在庫がある場合に限り傷んだ材料のみ交換できる。
- 指示は技能競技大会初日の朝に出され、必要に応じてエキスパートが競技課題について詳しく説明する。
- すべての選手は、準備日の1日目に材料名が書かれたリストを受け取る。

6 職種管理と情報伝達

6.1 ディスカッションフォーラム

職種競技に関する議論、情報伝達、協力と意思決定の全ては、技能競技大会に先立ち、ワールドスキルの職種限定のディスカッションフォーラムで実施すること（<http://forums.worldskills.org>）。職種に関連する決定と情報伝達は、ワールドスキルのディスカッションフォーラムで行われた場合のみ有効とする。チーフエキスパート（または職種管理チームが指名したエキスパートリード）が、このディスカッションフォーラムの進行役となる。情報伝達に関するタイムラインと職種競技作成の要件については、競技規則を参照のこと。

6.2 選手の情報入手

大会登録された選手のための情報は、すべて選手センター（www.worldskills.org/competitorcentre）から入手できる。入手可能な情報は以下の通り：

- 競技規則
- 職種定義
- 採点集計様式（該当する場合）
- 競技課題（該当する場合）
- インフラリスト
- ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制
- その他の技能競技大会関連の情報

6.3 競技課題と採点スキーム

公開中の競技課題は、www.worldskills.org/testprojects および選手センター（www.worldskills.org/competitorcentre）から入手できる。

6.4 大会期間中の各日の職種管理

技能競技大会中の日々の職種競技の管理は、職種管理チームが作成した職種管理計画に定められている。職種管理チームは、SCM（職種競技マネージャ）、チーフエキスパートとエキスパートリードで構成される。職種管理計画は技能競技大会の6ヶ月前から順次作成され、技能競技大会時に完成する。職種管理計画はエキスパートセンター（www.worldskills.org/expertcentre）で閲覧することができる。

6.5 一般的な最良事例の手順

一般的な最良事例の手順では、最良事例の手順と職種限定規則（9）の違いを明確に説明する。一般的な最良事例の手順は（倫理行動規程罰則システムを含む問題および紛争解決手順の一部として罰則が適用されるであろう）競技規則または職種限定規則への違反として、エキスパートや選手が責任を課されてはならないものである。場合により、選手に向けた一般的な最良事例の手順が採点スキームに反映されることもある。

トピック/タスク	優良事例の手順
競技課題 / モジュールの公開	<ul style="list-style-type: none"> 4日間すべての分の競技課題/モジュール（サプライズモジュールを除く）は、競技第1日目の冒頭で発表される。 サプライズモジュールは、そのモジュールの職種競技の時間が始まる時に発表される。指示を読むために最低10分の時間が与えられる。
競技課題の翻訳	<ul style="list-style-type: none"> 技能競技大会において、競技課題モジュールの翻訳は行われず。翻訳が必要なすべてのテキストを含む文書は、技能競技大会の前に公開される。エキスパートが職種競技マネージャ（SCM）に翻訳を提供し、競技課題文書の翻訳に使用される。 選手は、すでに翻訳されているこの文書を技能競技大会に持ち込むこともできる。 これ以上、この文書を翻訳する時間は予定されていない。
技能競技大会の礼儀作法	<ul style="list-style-type: none"> エキスパートや通訳者は、選手の気を散らす可能性があるため、職種競技の時間中に1人の選手のワークステーション（各選手用作業場）の周りを歩き回することは許可されていない。
評価	<ul style="list-style-type: none"> すべてのエキスパートは必須の評価訓練を受ける。エキスパートが専門的な評価方法を理解していないことが判明した場合、職種競技マネージャとチーフ・エキスパートは、競技運営委員会代理人との協議の上、採点チームからそのエキスパートを解任する権利を有する。エキスパートは、経験を積むために採点を観察することを許可されているが、採点プロセスに意見したり干渉したりすることはできない。 採点チームは職種競技マネージャとチーフ・エキスパートによって決定される。 競技第1日目の朝に、採点チームへ採点基準が指定される。 採点チームは、評価の各日に同じ基準を採点する。技能競技大会中にすべてのエキスパートが評価を義務付けられているわけではない。評価を行わないエキスパートには、職種競技マネージャとチーフ・エキスパートが適切と判断した他の義務が割り当てられる場合がある。 評価を行う必要のないエキスパートは、評価が行われている間、職種競技エリア内に留まらなければならない。評価を行わないエキスパートは、プロセスを観察することが推奨されるが、決して評価に干渉してはならない。 経験豊富なエキスパートが、採点チームを主導するように配置される。これらのリーダーは、職種競技マネージャとチーフ・エキスパートによって配置される。 評価を行っている間、職種競技マネージャ、チーフ・エキスパートは、採点を監視し、採点基準を理解していないエキスパート、一貫性のない採点を行っているエキスパート、または偏見や個人的な好みによって採点しているエキスパートを解任する権利を有する。これは、競技運営委員会代理人と協議の上で実行される。

7 職種限定の安全要件

7.1 個人用防護具

開催国/地域の規約の情報として、ワールドスキルズ安全衛生および環境に関する方針と規制を参照すること。

タスク	側面保護付き安全メガネ	防塵マスク	長い髪を後ろで束ねる	つま先とかがとが閉じた頑丈な靴	体にぴったりと合った作業服（長ズボン）	切創防止手袋	防音保護具	安全靴
安全エリア外の一般的なPP（個人用防護具）				√				
常にワークショップ（各職種競技場）エリア内				√	√			√
ドリルを使用する場合	√		√	√	√		√	
培養土を使用する場合		√		√	√	√	√	

8 材料と機材

8.1 インフラリスト

インフラリストには、大会開催組織が提供するすべての機材、材料、設備の詳細が記載されている。

インフラリストは、www.worldskills.org/infrastructureで入手可能である。

インフラリストには、次回の技能競技大会に向けて職種管理チームが要求した品目と数量が記載されている。大会開催組織は、順次この品目の実際の数量、種類、ブランド、型式を指定したインフラリストを更新する。特定の材料および/または製造元の仕様の詳細は秘密にされている場合があり、技能競技大会の前に公開されない場合があることに注意すること。そのような物の中には、故障発見モジュールや公開されていないモジュールの詳細が含まれる場合がある。

各技能競技大会において、職種管理チームは、次回の技能競技大会に備えたインフラリストの検討と更新を行わなければならない。職種競技マネージャは、スペースおよび/または機材の増加がある場合は必ず、技能競技大会ディレクターに報告しなければならない。

各技能競技大会において、技術オブザーバーは、次回の技能競技大会に向け、その技能競技大会で使用されるインフラリストを監査する必要がある。

インフラリストには、選手および/またはエキスパートが持参する必要がある品目や選手の持参が禁止されている品目は含まれない。これらの品目は以下に記載する。

8.2 選手の工具箱

選手は、技能競技大会に工具箱を送ることはできない。すべての工具は大会開催組織が提供する。

8.3 選手が提供する材料・機材・工具

選手は材料、機材、工具を技能競技大会に持ち込むことはできない。ただし、選手は大会開催2日前（習熟日）の朝に少数の個人用の工具を持ち込むことが許されている。これらの工具は、選手の荷物に入れて持ち込むか、現地で購入することが推奨される。

さらに、選手は、セクション7の職種限定の安全要求事項で規定されているとおり、自分の個人用防護具を提供する必要がある。

8.4 エクスパートが提供する材料・機材・工具

エキスパートは、セクション7の職種限定の安全要件に明記されているとおり、自身の個人用防護具を用意しなければならない。

エキスパートは、通訳者の防護具の用意についても責任を負うこと。

8.5 職種エリアで禁止されている材料・機材

選手とエキスパートは、セクション8.3および8.4に記載されていない材料または器具の持ち込みを禁止されている。

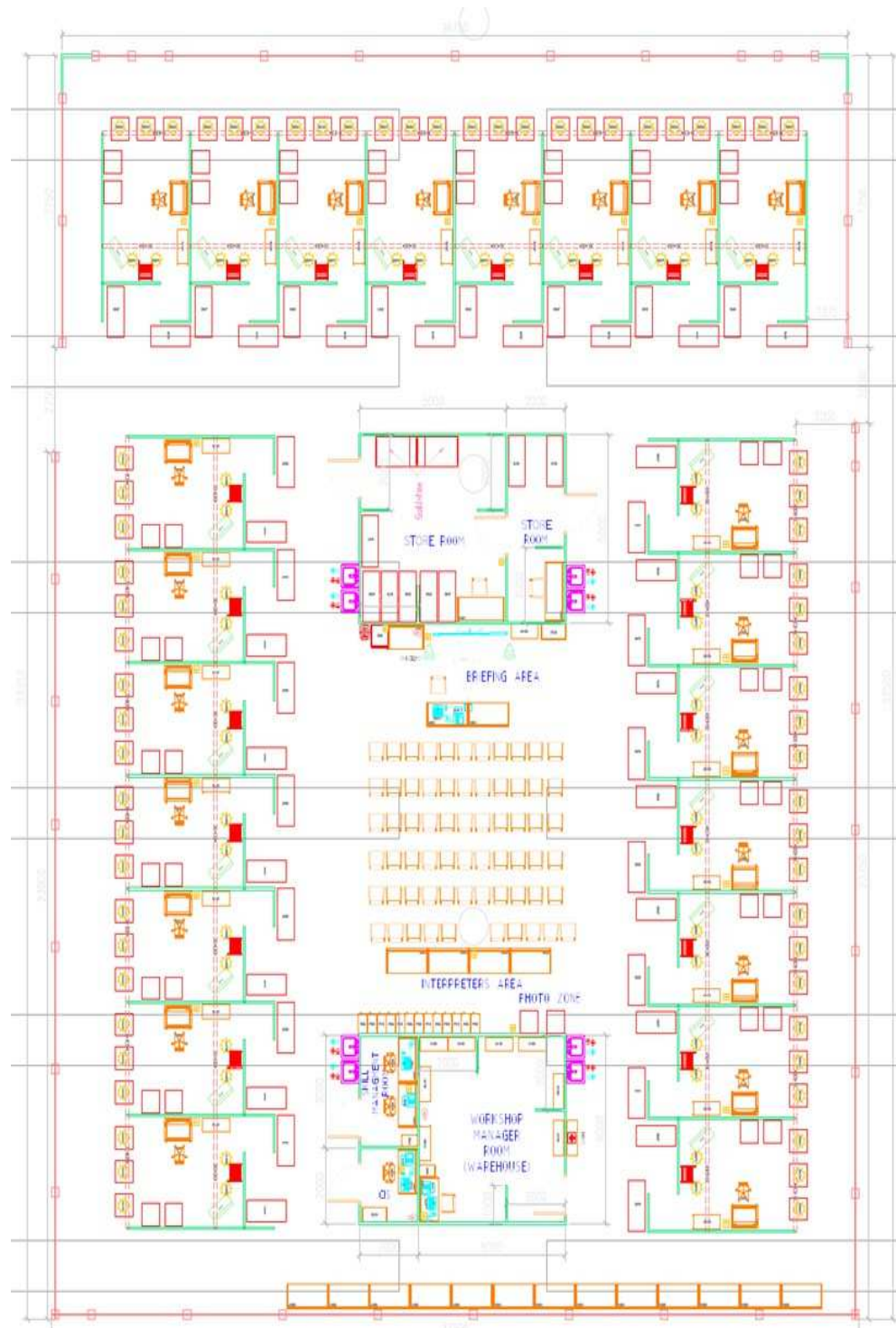
- 選手が自身の独自の材料を使用することは認められていない。ただし、技能競技大会の3か月前にその材料がワールドスキルズ・ディスカッション・フォーラムに掲載され、各選手に支給される場合を除く。

- 選手は、店舗ディスプレイを除き、前のモジュールの材料を分解して再利用してはならない。
- 接着剤や着色剤など、あらゆる種類のスプレー

8.6 ワークショップとワークステーションのレイアウト案

過去大会におけるワークショップのレイアウトは、www.worldskills.org/sitelayoutで入手できる。

ワークショップのレイアウト例



ワークショップ（各職種競技場）の必要条件

作業エリアはその2面を完全に閉鎖し、観客のために1面を完全に開放、残りの1面は選手が控えエリアに出入りするために部分的に開ける。

全体的レイアウト：各選手用

- 各選手用60㎡のワークステーション。作業と展示材料用
- 選手ブース正面と一般観客エリアの間に1メートル以上のスペース
- 作業エリアの背景は中間色とする
- 選手1人あたり最低2mのつり下げ用壁
- 各選手用のコンセント、エクステンダー付き
- 各選手用のスポットライト10灯
- 作業テーブル（高さ調整可能）最低1台
- 各選手に水用バケツ最低10個
- 125/50×50cmの展示用円柱2個
- 容器、花瓶、ボウル20個
- ブライダルブーケ用スタンド
- 50 cm × 200 cmの鏡1面
- グルーガン1台と最低40本のグルースティック（グリッターなし、色なし）

展示エリア

- 展示エリアの背景色は中間色とする
- 壁や床と同じ中間色の展示用キューブを各選手に5個

判定エリア

- 選手1人あたり最低2mのつり下げ用壁
- 評価用のテーブル数台
- スポットライト（選手のワークステーションと同じもの）

ミーティングルーム

- エキスパート用エリアには、全エキスパートのためにミーティング用の椅子とテーブルを用意するための十分なスペースと施錠可能なドアが必要である。

一般エリア

- 選手およびエキスパート用ロッカー
- 涼しい部屋、選手1人あたり4㎡、高さ2m
- サービスステーション（ペーパータオル、ゴミ袋、飲料水など）
- 選手5人につき蛇口1つ（流しと排水管付き）

ワークショップの一般的要求事項

- 作業に適した照明（各作業エリアと判定エリアは750ルクス）
- 高さが調節できるスツール（バースツール）
- 施錠できる引き出し付チェスト
- ハンドブラシなどの清掃道具を用意する
- ゴミ箱
- 床は中間色で防水とし、カーペットを敷かない
- タイマー（ストップウォッチ）

- スポットライト
- 判定エリア
- 大きな時計

9 職種限定規則

9.1 一般的な説明

職種限定規則は競技規則と矛盾があってはならず、競技規則より優先されてはならない。職種限定規則は職種競技によって異なるであろう分野において具体的詳細を示し、明確にする。これは、個々のIT機器、データ記憶装置、インターネットアクセス、手順やワークフロー、文書管理や配布を含むが、その限りではない。

これらの規則に対する違反は、倫理行動規程罰則システムを含む、問題および紛争解決の手順に従って解決される。

9.2 職種限定規則

トピック/タスク	職種限定規則
テクノロジーの使用 - 個人用ノートパソコン、タブレットおよび携帯電話	<ul style="list-style-type: none"> • 職種競技マネージャ、チーフ・エキスパート、選手、エキスパートおよび通訳者は、エキスパートルーム内に限り個人のノートパソコン、タブレットや携帯電話を使用することができる。 • 職種競技マネージャとチーフ・エキスパートは、職種競技の業務を行っている際には、エキスパートルームの外でこれらのデバイスを使用することが許可されている。 • 選手は、個人のノートパソコン、タブレットや携帯電話をワークショップに持ち込むことはできない。私物をワークショップ（各職種競技場）に持ち込む場合は、個人用ロッカーに入れて施錠する必要があり、これは昼食時と一日の終わりにのみ取り出すことができる。
テクノロジーの使用 - 個人の写真・動画撮影デバイス	<ul style="list-style-type: none"> • 職種競技マネージャ、チーフ・エキスパート、エキスパート、選手および通訳者は、職種競技の各競技日の終わりに、個人の写真・動画撮影デバイスを使用して写真を撮ることができる。
テンプレート、補助器具、書籍等	<ul style="list-style-type: none"> • 選手は、いかなる種類の資料または印刷物もワークショップに持ち込むことはできない。これらのものをワークショップに持ち込む場合は、各日の終わりまで個人用ロッカーに施錠保管しなければならない。 • フラワー装飾のワークショップに日々追加の材料や道具を持ち込むことはできない。
材料と道具	<ul style="list-style-type: none"> • 選手は、追加の道具、機材または材料をワークショップに持ち込むことはできない。これらのものをワークショップに持ち込む場合は、各日の終わりまで個人用ロッカーに施錠保管しなければならない。

10 来場者とマスコミに対する職種の広報活動

10.1 広報活動の実施方法

来場者とメディアの参加を最大化するために考えられる方法を、以下に掲げる。

- 技能体験
- ディスプレイ画面
- 競技課題の解説を明確かつ視覚的に提示
- 選手の活動に対する理解の促進
- 選手のプロフィールの紹介
- 就業機会の情報提供
- 競技状況の毎日の掲示
- 今日の観客賞 - 一般メンバーが好きな作品に投票

11 持続可能性

11.1 持続可能性の実践

本職種競技では以下の持続可能な実践活動を重視する。

- リサイクルの実施
- 「グリーン」材料の使用
- 技能競技大会終了後に、完成した競技課題を利用すること

12 産業界との協議に関する情報

12.1 一般的な説明

ワールドスキルズは、ワールドスキルズの職業基準が業界や企業における国際的に認められた最良事例のダイナミズムを完全に反映するよう努めている。そのため、ワールドスキルズは2年周期で関連する職業の役割についての説明案とワールドスキルズ職業基準に対するフィードバックが提供可能な、世界中の多くの組織にアプローチを行っている。

並行して、WSIIは3件の国際職業分類とデータベースを参照している。

- ISCO-08: (<http://www.ilo.org/public/english/bureau/stat/isco/isco08/>)
- ESCO: (<https://ec.europa.eu/esco/portal/home>)
- O*NET OnLine (www.onetonline.org/)

12.2 参考情報

本WSOSは、フラワーデザイナー：<https://www.onetonline.org/link/summary/27-1023.00>

および庭と花の専門販売業者：

<http://data.europa.eu/esco/occupation/c0768628-46ad-4077-ae0-66ab6d7711df>

に最も密接に関連している。

これらのリンクから、類似した職業も検索することができる。

ILO 5223

以下の表に、技能五輪国際大会（2024年リヨン大会）に向け、関連する職業の役割の説明とワールドスキルズ職業基準について打診され、有益なフィードバックを提供した組織を示す。

組織	担当者
Asociación Española de Floristas	Fernando Ríos Enamorado, バイス・プレジデント
FLOrint	Simon Ogrizek, プレジデント

13 付録

13.1 付録情報

該当なし。